

## 団体概要書

(その1)

|                |   |      |  |   |
|----------------|---|------|--|---|
| 団体名            | 特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋   |      | 団体の種<br>別<br>※いずれ<br>かの□に<br>チェック<br>してくだ<br>さい。 | <input type="checkbox"/> 公益社団法人   |
| 代表者の<br>役職・氏名  | (ふりがな) だいひょうりじ 山田假奈代<br>代表理事 山田假奈代  |      |  | <input type="checkbox"/> 公益財団法人<br><input checked="" type="checkbox"/> NPO法人<br>( <input type="checkbox"/> 認定NPO法<br>人)<br><input type="checkbox"/> 非営利型法人<br>(公益法人へ移行予<br>定) |
| 主たる事務所<br>の所在地 | 大阪市西成区太子 2-3-3  |      |  |   |
| 設立年月           | 2003年 4月 (NPO法人 2004年 10月)  | 構成員数 | 22   |   |
| 事業年度           | 6月 1日 から 5月 31日   |      |  |   |
| 団体の活動<br>目的    | こえとことばとこころをキーワードとした芸術活動の普及と人材育成を柱に、表現者や表現<br>をとりまく仕組みの新たな経済モデルを実践し、いきいきとした市民生活への貢献とまちづ<br>くりの推進を図りながら、男女共同参画社会の形成と子どもの健全育成を図り、表現活動を<br>通じて平和の推進に寄与することを目的とする。 |      |  |   |
| 活動分野           | ※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。<br>14 その他の芸術文化  |      |  |   |

|             |   |
|-------------|---|
| 主な活動内容      | 地域で拠点を開き、交流と表現の場を日常的に創造し発信する。釜ヶ崎芸術大学など  |
| これまでの主な活動実績 | <p>※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。</p> <p>2003年 新世界フェスティバルゲートで活動開始</p> <p>2008年 西成区に拠点をうつし、喫茶店のふり</p> <p>2009年 まちかど保健室 毎月一回開始</p> <p>2011年 「まちでつながる」月一回9ヶ月の表現ワークショップを地域内で開催</p> <p>2012年 釜ヶ崎芸術大学 開始</p> <p>2013年 台湾 展覧会「逆棲」に参加</p> <p>2014年 ヨコハマトリエンナーレ 2014 に参加</p> <p>2016年 ゲストハウスを開業</p> <p>2016年 大岡信ことば館「釜芸がやって来た！」展</p> <p>2019年 クラウドファンディングをして井戸掘り</p> <p>2020年 地球市民賞、大阪市弁護士会人権賞 受賞</p> <p>2021～25年 大阪関西国際芸術祭 参加</p> <p>2022年 釜ヶ崎のおじさんの葬式を行う</p> |
| ホームページ      | 有 (URL <a href="http://www.cocoroom.org">www.cocoroom.org</a> )   |
| 機関紙         | 有 (機関紙名 ぼえ犬通信 )   |

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎
- 11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

寄附者へのPR等

(その2)

|   |  |
|---|--|
| <p>貴団体における現在の課題</p>   | <p>組織の課題：スタッフの確保と事業承継。辞める人が多く、組織としての成長が難しい。</p> <p>地域課題の多層化：地域の人々（釜ヶ崎のおじさんと支援側の人、両方）の高齢化と亡くなる方も多く、再開発が急激に進み、街の変化が激しい。また街と街に暮らした人々の記憶の継承が難しい。カラオケ居酒屋と民泊、貧困ビジネスの急増。</p>  |
| <p>貴団体の将来展望<br/><br/>(何をめざしているのか、<br/>支援を受けて取り組みたい<br/>こと等)</p> | <p>変わりゆく街のなかで、「出会いと表現の場」がもつ可能性をひらき、続けていくこと。芸術は人と社会に何をもたらし、またそれを「働き」ととらえることができるのか。釜ヶ崎という街、また本事業のような活動を年中無休で喫茶店としてひらき、泊まることもできる場があることを「なにかあったときに安心だ」と言われることが多いが、こうした場を支えるためにはお金も担い手も必要なので、それらを取り巻く環境がもうすこし整うために支援をうけて取り組みたい。</p> |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <p>市民等寄附者に対する P R</p> | <p>西成区の通称・釜ヶ崎で、喫茶店のふりと、海外からのゲストと地域をつなぐゲストハウスを運営しながら「であいと表現の場」をつくっています。2009年に始めた毎月一回の「まちかど保健室」は今ではさまざまな団体や個人が技芸を発表する場になり、2012年から始めた「釜ヶ崎芸術大学」は年間約80講座、これまで1万人以上の方が参加されました。また地域の生活保護受給者の社会的つながり・就労準備支援を行う「サービスハブ西成」やシェルターでの表現プログラムを行なっています。ココルームにはときには困難を抱えた方が訪れることもあり、地域の資源につなぎ関わりをつづけています。補助金や制度活用はなく活動していますので、いただいた募金は、活動の基盤をささえるための、人材育成、普及啓発に活用します。ココルームに足を運んでお茶に来てくださることやバザーへの寄付も応援となります。今後ともひきつづきよろしくおねがいします。</p> |
|-----------------------|---|

この申請書に記載している事項に間違いはありません。

2025年 12 月 19 日

団 体 名 \_\_\_\_\_ 特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋 \_\_\_\_\_

代表者氏名 代表理事 山田假奈代 \_\_\_\_\_